

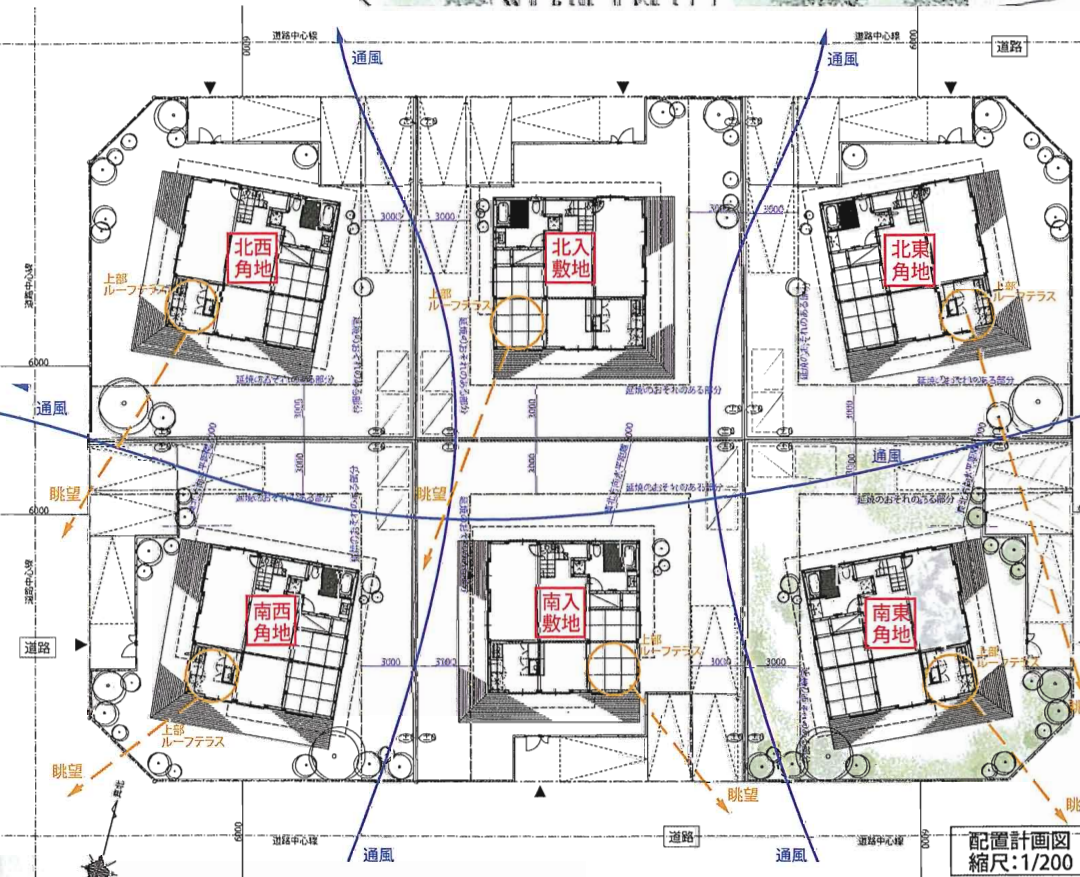
#の字型ハウス / 自由に間仕切れる家

(運健夫建築研究室一級建築士事務所)

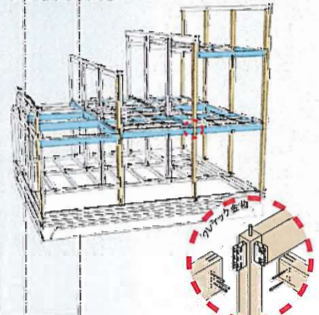
日本の伝統的民家である“田の字型プラン”は、土間と各部屋が横によって自由に間仕切ることができる優れた特徴を持っています。この現代版として“井の字型ハウス”を考えました。正方形のマス目を基本にした間取りは隣接する部屋と部屋を繋げて広く使ったり、横で仕切って別々に使ったりすることができます。建物は、敷地の中央部に配置することにより、敷地境界線からの距離（延焼の恐れのある部分）を確保することができ、杉板貼りなどローコストな外壁材を使うことができると共に、十分な採光、通風を得ると共に、隣家の視線をかわすことにも寄与します。当敷地は南東方向に抜けており、眺望を考慮してやや斜めに建物を振った配置としています。他の敷地においては、真南の配置、西南の斜め配置といったケースも考えられ、住宅地全体として多様性のある有機的な街並みが形成されることが期待できます。大きな土間は玄関としての役割だけではなく、作業場として、隣人を招く場所など、多様な使われ方が考えられます。2階の各個室も横で自由に間仕切ることができます。1つのユニットが4帖半大で、2つを一緒に使って9帖大として使うなど、様々な広さの部屋を作ることができます。片流れの屋根はソーラーパネルを最大限設置することができます。小部屋収納を確保することができます。眺望の良い南東側にルーフテラスを設けており、緊急時はそこから屋根の上に無理なく避難することができます。

日本の伝統的民家：田の字型プラン

ふすまで自由に間仕切ることができる。（大きく使ったり、小さく使ったり）



敷地の中央部に眺望の良い南東側に向けて配置
建物を中央に配することにより、隣戸との距離を確保することができ、十分な採光・通風を得ることができます。当敷地は南東角地で、眺望の良い南東方向に斜めに配置しています。1階においては延焼の恐れのある部分を避けることができます。杉板貼りなどローコストな外壁材を用いることができます。周囲には駐車場・倉庫・作業スペース・庭、庭、アプローチなどまとまった場を作ることができます。この考えは、南入敷地、南西角地、北東角地、北入敷地など他の敷地でも踏襲することが可能で、間取りも反転することにより無理なく配置することができます。



■在来工法による堅固な井の字型フレーム
柱と梁を井の字型に組むことで、XY両方向に堅固な構造となっています。単純な部材構成は施工しやすく、経済性と共に工期短縮のメリットがあります。在来工法において、ほぞ溝を必要としたウレック金物やタイガジョイント金物を用いて堅固にするので、強いフレームとなっています（軸組計画で1.5倍の耐震性能）。吹き抜け部分の梁は現しとなっていますので、それを利用して2階床の増設も可能です。

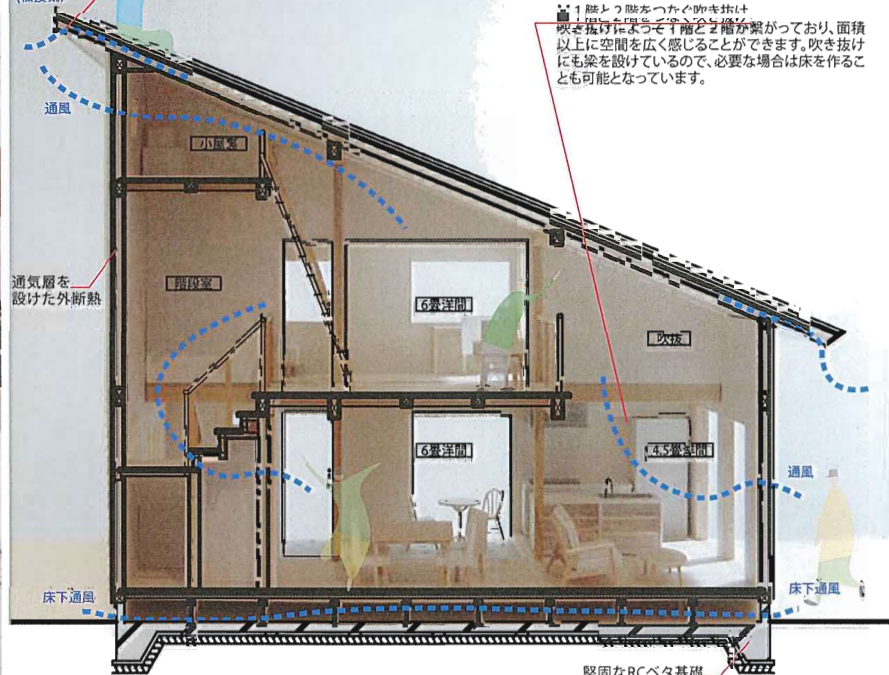
■一体的水廻り
浴室、洗面、トイレ、洗濯を一体的に扱うことにより、介助がしやすく、バリアフリー化が実現しています。また、配管等がまとまってより経済的かつメンテナンス性があります。

■和と洋の2つの茶の間
洋間（和の間）としての茶の間と、和室（和）としての茶の間と、二つの茶の間を設けています。その時々に合わせて、使い分けることができます。いずれも横で自由に間仕切ることができます。



■ソーラーパネルを最大限設置
SunPower社製20/327Wソーラーパネルを使用の場合、15 kW 程度まで発電する事が可能です。

■断熱屋根と換気システム
屋根は断熱材を入れると共に、通気スペースを設け、熱がこもらないようにすると共に換気システムにより通風を行い木の呼吸を助けるなど耐久性を上げています。



■1階より2階へ移動するための吹き抜け
吹き抜けは2階と1階を繋いでおり、面積以上に空間を広く感じることができます。吹き抜けにも梁を設けているので、必要場合は床を作ることも可能となっています。



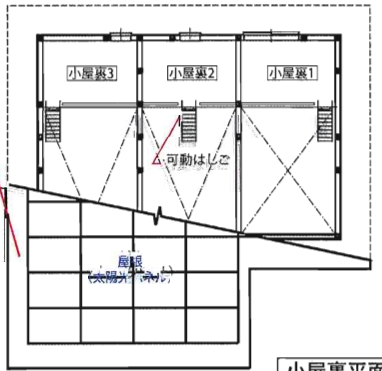
■縦ハゼ葺きのガルバリウム鋼板を用いた壁
ガルバリウム鋼板は錆びにくい鋼板でメンテナンスフリーの優れた特徴を持っています。これを縦ハゼ葺きにすることにより、ソーラーパネル取り付け金物が、雨漏り等の問題なく取り付けが可能となります。屋根重量も軽く地震に対して有利です。



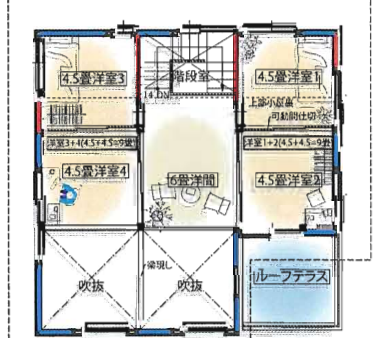
■多様な使われ方ができる広い土間
土間を広くとることで、作業場として使ったり、隣人とちょっとお茶をする場として使うなど、多様な使い方ができます。

■生活を豊かにするL字型ウッドデッキ
お茶を飲むといった私的な活動と共に、玄関前での休息やおしゃべりといった活動が道路側の人のコミュニケーションを促すこととなります。

■互換性を持つ井の字型のグリッドプラン
家族の成長や使い方に合わせて部屋を変えられる。2階の各部屋は、横によって自由に間仕切ることができる。また、個人スペース、あるいは共有のスペース、広い部屋、小さな部屋など、互換性を持って自由に間仕切ることができます。

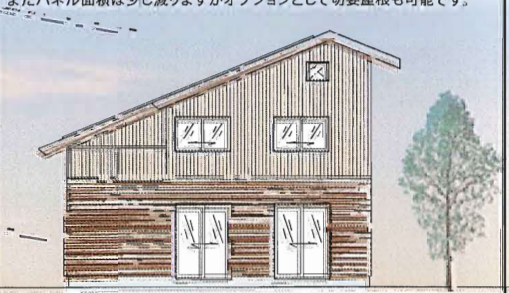


小屋裏平面図

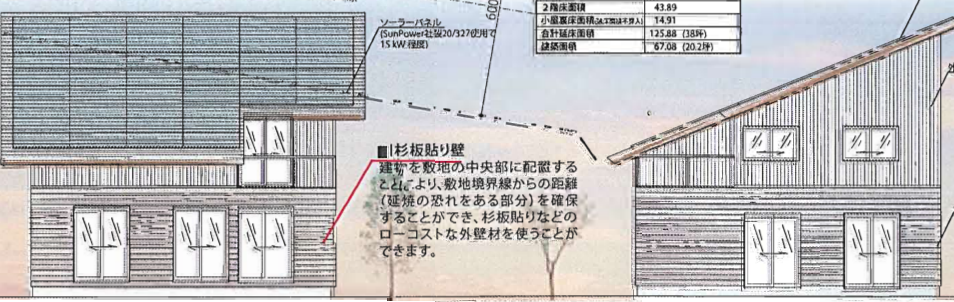


2階平面図

■片流れ屋根と切妻屋根(オプション)
片流れの屋根により最大限のソーラーパネルを装備することができます。また、ルーフテラスから方角の時に無理なく屋根に登り避難することができます。またパネル面積は少し減りますがオプションとして切妻屋根も可能です。



■杉板貼り壁
建物を敷地の中央部に配置することにより、敷地境界線からの距離（延焼の恐れのある部分）を確保することができ、杉板貼りのローコストな外壁材を使うことができます。



項目	1階床面積	2階床面積	小部屋床面積(土間・2階)	合計床面積	延焼面積
数値	67.08	43.9	14.91	125.88 (138)	67.08 (20.29)

1階平面図 縮尺:1/100

■ガルバリウム鋼板壁
手が届き辛い2階の外壁にはメンテナンスフリーのガルバリウム鋼板を用いることを想定しています。断熱材を用いると共に通気層を設け、熱がこもらないようにすると共に、木の呼吸を助けるなど耐久性を上げています。

